

KAKEGAWA

かがわ 第32号

市議会  
だより

平成23年8月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

夏の風物詩(城北中央公園にて)

おもな内容	CONTENTS
● 6月定例会の概要	2 ページ
● 一般質問	4 ページ
● 市内の現地を視察	8 ページ
● 特別委員会を設置	10 ページ
● 傍聴席/9月定例会の予定	12 ページ

# 企業会計決算特別委員会が6月27日に開催されました

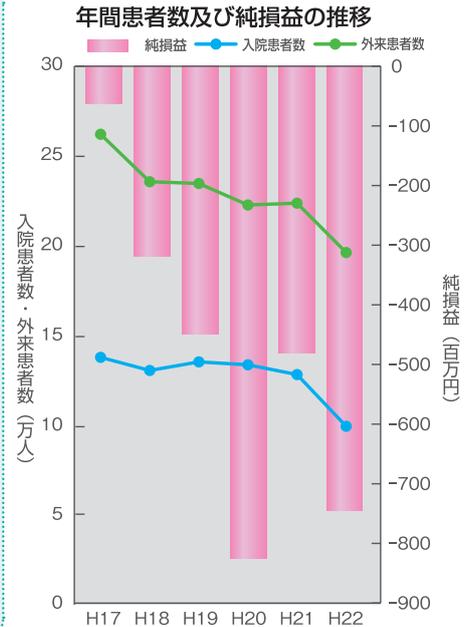
平成 22 年度病院・水道事業会計とも慎重に審議され、7月4日の本会議において認定されました。

## 健全な病院経営をめざして

経営収支は事業収益 75 億 2,016 万円に対し費用は 82 億 6,546 万円で差し引き 7 億 4,530 万円の純損失でした。累積赤字(欠損金)は 28 億 2,844 万円となり、2年後の新病院への移行を控える中、地域医療の中核として、公営企業の公共性と経済性を保持しながら、医業収支改善が強く望まれます。

### 主な質問と回答

- Q** 患者7人に対し看護師1人の看護体制への移行は、患者の減少によるものか？
- A** 一つの要因である。それに加えて医師や看護師の業務改善により病棟へ手厚く配置できたことが大きい。これにより、看護の質の向上とともに看護師の労働環境が改善し、収益面でのアップが期待できる。
- Q** 入院患者数が 28,705 人の減という実態のあるなか、まだ入院の必要性がある患者が強制的に退院させられるなど病診連携への影響はどうか？
- A** 急性期、慢性期と病院の機能分担を図り、中東遠地域の中で対応できる体制を整えている。回復期病床は私立の施設も含めて 222 床となり、当院の治療を終えた患者は菊川、森、御前崎の各リハビリのある病院へ行っていただいている。紹介患者数は減っていない。
- Q** 患者の受け入れ増につながるよいアイデアはないのか？
- A** 市民が安心して市立病院を選べるように、どのような病気の人が、いつ、どのように行ってもいいのかというキャパシティを病院から情報発信していきたい。病院の信頼は口コミの影響が大きいので患者さんの目線を重要視していきたい。



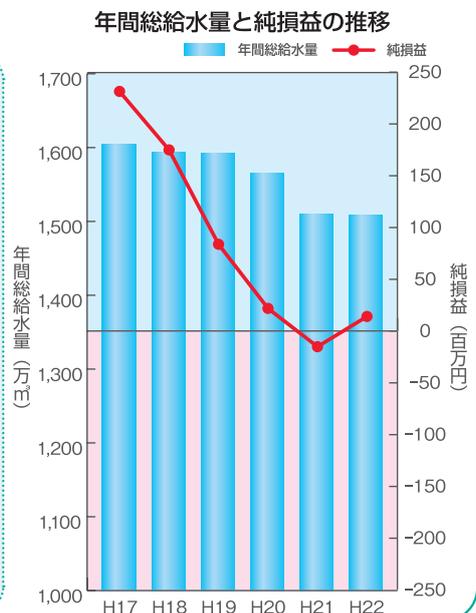
## 経費削減努力により黒字化

経営状況は事業収益 27 億 1,655 万円、費用は 27 億 244 万円で、差し引き 1,411 万円の純利益を計上しました。

前年度は新市発足以来初めての赤字決算でしたが、22年度は給水収益の減少を小幅に抑えられ、経費削減に努めた結果、純利益を計上することができました。

### 主な質問と回答

- Q** 配水池の緊急遮断弁過流量設定工事はいつまでに？またガル<sup>※</sup>設定は？
- A** 緊急遮断弁過流量設定工事は 22 年度 8 箇所、23 年度に 5 箇所施工し完了する。遮断弁は掛川地区 150 ガル、大須賀地区 200 ガル、大東地区 250 ガルとなっていた設定値を 200 ないし 250 ガルに上げ設定した。
- Q** 18 年度以降の未収金の件数と金額は？またその軽減策は？
- A** 18 年度から 21 年度の未収金件数は 3,398 件、未収金は 1,626 万円である。滞納すれば給水停止通知、さらには給水停止を行い、早めの対応を行っている。
- Q** 経営状況は大変厳しいので、今後水道料金の値上げに結びつかないか？
- A** 内部で経営改善対策委員会を立ち上げ調査研究しており、これ以上の節減の難しさはあるが、徹底したスリム化を行い、さらにその先は内部留保金を充てて対処していきたい。



※「ガル」とは、CGS 単位系における加速度の単位であり、1 ガルは、1 秒 (s) に 1 センチメートル毎秒 (cm/s) の加速度の大きさと定義されている。

## 6月定例会における議案の審議結果一覧

議 案 名		議 決 内 容
予 算	○平成 23 年度掛川市一般会計補正予算(第2号) について	全会一致可決
決 算	○平成 22 年度掛川市病院事業会計決算の認定について	賛成多数認定
	○平成 22 年度掛川市水道事業会計決算の認定について	賛成多数認定
条 例	○掛川市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	○掛川市税条例の一部改正について	全会一致可決
	○掛川市排水設備指定工事店条例の一部改正について	全会一致可決
	○掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全会一致可決
一 般	○さかがわ幼稚園園舎建築工事請負契約の締結について	全会一致可決
	○公共下水道掛川浄化センター第3期建設工事委託契約の締結について	全会一致可決
	○掛川市道路線の認定について	全会一致可決
	○掛川市道路線の変更について	全会一致可決
報 告	○平成 22 年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について	全会一致受理
	○平成 22 年度掛川市公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告について	全会一致受理
	○平成 22 年度掛川市病院事業会計事故繰越しの報告について	全会一致受理
	○掛川市病院事業会計資金不足比率の報告について	全会一致受理
	○掛川市水道事業会計資金不足比率の報告について	全会一致受理
人 事	○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(2件)	全会一致同意
陳 情	○公契約条例制定を求める陳情書	賛成少数不採択
意見書	○「当面の電力需給対策に関する意見書」の提出について	全会一致可決

### 6月定例会の経過

● 13日 本会議 ≪平成二十二年  
度企業会計決算、  
平成二十三年度一般  
会計補正予算等各議  
案の市長提案理由説  
明、監査委員の決算  
審査説明

● 21日 本会議 ≪一般質問

● 22日 本会議 ≪一般質問

● 23日 本会議 ≪議案一部採  
決。議案常任委員会  
付託。企業会計決算  
特別委員会設置、付  
託。

● 27日 企業会計決算特別委員会  
≪付託議案審査  
常任委員会 ≪付託議  
案審査

● 7月 4日 本会議 ≪決算特別委  
員会・常任委員会委  
員長報告、討論、採決。





**本年度で終わる「八園構想」の成果と課題は**

高木敏男（誠和会）

**Q** 平成十五年四月初めの幼稚園「すこやか」が開園、その後幼稚園五園、幼稚園一園が開園した。今年度「さががわ幼稚園」の建設で「八園構想」は終了となるが、成果と課題はどうか。

**A** 所期の目的は達成されたと認識している

八園化構想の背景には、施設の耐震化、保育ニーズの高まり等の課題があったが、これらはほぼ解消された。

課題は、保育ニーズのさらなる高まりによる待機児童の発生や、公私立幼稚園間の保育料格差などがある。

**お茶の放射性物質の検査料は誰が負担するのか**

**Q** 県内で暫定規制値を超える製茶が出たことにより、掛川市内でも自動的に三十二製茶工場の一茶葉の荒茶の放射性物質の検査を行った。一検体二万円の検査

料は誰が負担するのか。

**A** 検査に係る費用負担を国等に要望していく

市が実施した検査料は、環境調査予算で対応した。一番茶の荒茶の検査料は掛川茶商協同組合、二番茶の生葉及び荒茶の検査料は掛川茶市場取引運営委員会が負担した。本来は国又は起因者の東京電力が負担すべきであり、機会を見て要望していく。

【他の質問事項】市長のマンフレスト進捗状況、介護保険第五期事業計画策定の方針、節電・省エネ対策、六月補正について



暫定規制値に振り回される県内茶

**浜岡原発は永久停止・廃炉へ**

川瀬守弘（共産党掛川市議員）

**Q** 福島原発事故で市民の不安の声が高まっております、原発と共存できないと考えている。浜岡原発は東海地震の震源域の真上にあり直下に断層、三連動地震も予想される。原発立地は適切か。浜岡原発は永久停止・廃炉しかないと思うが見解を伺う。

**A** M9の地震・津波に對し万全な安全対策の構築が重要

国が浜岡原発の全炉停止を要請した。これは、この地域が三十年以内に震度六強の地震が発生する可能性が高く、防波壁設置等の中長期対策を確実に実施することが必要であるという判断であり、適地とは言いがたいと思っ

生を図るべきと思うが見解を伺う。

**A** 再生可能な自然エネルギーの普及促進を図っていく

自然エネルギーが注目される状況下、太陽光発電の設置はまだ市場が大きく、地域経済への波及効果も期待される。風力発電も一基が完成し現在七基が建設中であるが、環境関連産業が今後の地域経済活性化にも寄与していくのではないかと期待している。

【他の質問事項】東海地震対策、新病院・地域医療、教育・子育てについて

**自然エネルギーへ転換を**

**Q** 原発からの撤退、再生可能エネルギーの普及

及び地球温暖化対策・エネルギーの地産地消・地域経済再



浜岡原発



「希望の丘」後方支援病院立地で、市と法人との理解は

山崎恒男（創世会）

**Q** 民間医療法人による病院が、近隣病院も含めた、後方支援病院としていかに機能していくのか、市と医療法人との考えに異論もなく、相互理解は図られているのか伺う。

**A** 今まで以上に病院間の連携が重要

医療法人社団綾和会による後方支援病院には、急性期治療後の亜急性期病床、回復期リハビリテーションや療養病床が必要となり、中東遠管内の各急性期病院退院後の受け皿として大きな機能を担っていただく。今後の医療制度改定を見据えた中で、機能の検討を詳細に行っていく。

掛川茶の安全宣言を全国消費者に向けて文書配布を

**Q** 掛川茶の放射能検査結果数値を、市長の安全宣言文として取引先や全国の消費地に向け、茶商を通じて

て配布させてはどうか。市長の見解を伺う。

**A** 大変重要であると考えている

今回の調査結果は、茶商の方からも積極的に活用していただけると伺っている。安全宣言書の配布は、消費者へ掛川茶の安心・安全を発信するため大変重要であると考えているので、掛川茶商協同組合や掛川市農協、遠州夢咲農協と調整していく。今後さらなる消費拡大を目指していく。

【他の質問事項】掛川市の緊急省エネ・節電推進について



安全宣言がされた掛川茶

再生資源エネルギーへの転換は

栗原通泰（三和会）

**Q** 松井市長は将来のエネルギー政策について、どのような見解か。また、ソフトバンクの孫正義社長の自治体と協力してメガソーラーを全国に設置する呼びかけに対する市長の考えを伺う。

**A** メガソーラー建設候補地として、県にお願いしている

将来のエネルギー政策は、再生可能なエネルギー利用の促進と、消費の抑制の両方を考えている。メガソーラーは、発電出力数万キロワット級のメガソーラーを全国十箇所程度に建設を検討しているものであり、市としては、その候補地として県にあげていただくよう県に資料を提供している。

れたが、その視察結果からの課題に対する今後の取り扱いと、また、行政職員の方が津波で犠牲となられた。その教訓をどう生かすか伺う。

**A** 津波対策のための海岸防災林の補強に努めていく

現地調査では、津波対策の重要性を認識した。各地区毎の最善の避難計画立案の指導と、海岸防災林の補強に努めていきたい。二次災害を防ぐ意味でも、大津波警報が発令されている間は海岸線に近づかず、同報無線にて対応するようマニュアルの変更を行っていく。

東日本大震災、現地視察から何を学んだか

**Q** 松井市長以下六名の市職員の視察報告がさ



大規模太陽光発電システム



**被災者支援システムの活用は**

山本行男（公明党かけがわ）

**Q** 阪神淡路大震災で被害を受けた兵庫県西宮市が独自に開発したシステムは、災害発生時の住民基本台帳をベースに被災者台帳を作成している。災害状況を入力することで「り災証明書」などの発行が短時間にでき、市民の皆様から大変喜ばれたと聞いている。当市での支援システムの活用を伺う。

**A** 近隣市と連携を図りながら検討していく

被災者支援システムは、細部の運用方法がまだ定められていない。今後、防災計画との整合を図りながら、具体的な運用方法を決定した上で、被災時の災害対策本部の各担当班、支部ごとの運用についての説明会を実施するとともに本格導入を進めていく。

**放射能汚染への対応は**

**Q** 収束のめどがたたない福島原発事故による放射能汚染について多くの市民が不安を抱いている。不安を解



放射能測定（曾我小にて）

消するために市がやるべきこととは。

**A** 独自の調査や測定器の購入、設置について検討していく

大東支所に設置してあるモニタリングステーションの数値や毎日県より送られてくるデータにて放射線のチェックをしており、市役所及び大東支所にあるモニターや県環境放射線監視センターのホームページで確認できることを市民にお知らせしていく。

【他の質問事項】釜石の奇跡に学べ・防災教育を伺う

**都市計画税、見直し不十分**

柴田正美（共産党掛川市議員）

**Q** 有識者会議の答申には都市計画税はさらに見直すとなっている。市民は納得していない。市長の公約でもあり、任期中にさらに見直しを。

**A** 都市計画税については公約として挙げている

口頭でいろんなところで申し上げたということであり、口頭の公約である。ただ、全体の税金を、トータルの税金をふやす・減らすという議論はあろうかと思う。

**原発震災に関連して市長の見解を問う**

**Q** 津波で宮古市田老（たろう）の国内最大級の防波堤は壊滅した。「十二メートル以上の防波壁」が完了すれば原発再稼働に賛成するのか。安全協定に「事前了解事項」を今こそ盛り込むべきでは。



崩壊した田老町防波堤（万里の長城）

**A** しっかりと理解が得られた後、判断することである

防波壁のみで安全であると考えていない。マグニチュード9の地震・津波に耐える安全性が必要である。安全協定の「事前了解事項」については、現在「事前了解」に関する規定はないが、事前協議を通じて実質的に事前了解が担保されると理解している。しかし、浜岡原子力発電所安全等対策協議会の中でも、今後、検討課題としていかなければいけないと思っている。

【他の質問事項】防災対策について



# 一般質問

## Q&A

### 防災対策強化に要する財源措置は

鈴木久男（創世会）

**Q** 地震と津波を想定した防災対策の強化は新たな行政需要である。また、発電所隣接市としての関連交付金も今後減額が見込まれる。将来の健全財政を維持しつつ、安全・安心のまちづくりを進めるための手法と財源の確保は。

**A** 行財政改革に取り組みつつ、歳出構造の改革を進める

震災を契機に、今計画している事業の実施年度をおくらせることや既存の事業予算の組み替え、縮小、先送りなどが必要になってくると思う。防災対策の推進については、増大する債務とのバランスに留意しつつ、できる限り速やかに、そして計画的に進めていく。

う。青田トンネルの開削が必要ではないか。

**A** 南北の幹線道路として重要な道路であると考えている

青田隧道は、本市の南北唯一の緊急輸送路として、さらなる安全確保と合併の南北一体感を即するために開削も含め、適切な安全対策を検討するよう県に強く働きかける必要があると考えている。

【他の質問事項】津波避難ビルの必要性、シートピア・くにやす苑の避難対策、公共施設の耐震対策について

### 太陽光発電の設置率二〇％達成時期とその具体的施策は

中上禮一（みどりの会）

**Q** 市長は、過日の市民総代会で太陽光発電の設置率二〇％を目標値として明言された。今までの施策は、供給側を支援することが中心だったが、これからは市民を支援する施策に切り替えていくことが求められると思うが見解を伺う。

**A** 五年後をめどに二〇％設置ができるよう努力していく

平成二十年度から公共施設へ太陽光発電等の自然エネルギー施設を設置するために、十四の企業から協力をいただき、環境基金を積み立てている。この環境基金により幼稚園などへの設置も検討していく。

創エネ・省エネ推進パートナーシップ協定を結んでいる事業者の太陽光発電施設展示場の利用や情報提供、さらに金融機関には太陽光発電施設設置の低利融資を推進してもらうなど、官民協働で施設設置を促進していきたい。

【他の質問事項】市内小中学校における講師の現状、健康増進策について

### 青田隧道のオープンカットは

**Q** 主要地方道掛川大東線は南北を結ぶ緊急避難路としても重要な役割を担



菊川河口潮騒橋より上流を望む

### 学校以外の公の施設への太陽光発電の設置は

**Q** 公の施設、特に地域の公民館などに設置することは、全戸設置への誘導策としても、また、地球温暖化



研究中のソーラーパネル（山梨県北杜市）

# 市内の現地を視察

各常任委員会において、5月下旬に所管事務事項の調査として、市内の現地視察を実施しました。各委員会より現地視察の内容を報告します。



## 総務委員会

### 所管事項

総務部、企画政策部、消防本部、出納局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会及び水道部の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

### 〔視察箇所〕

- 消防指令センター建設予定地（磐田市福田支所）
- 大須賀海岸線（弁財天河口、今沢集落等）
- 大東支所と展望台（三俣）
- 潮騒橋からの眺望と風力発電（国安）
- 大東温泉シートピア（国安）
- 特別養護老人ホームくにくやす苑（国安）
- 南北道牛淵川橋梁工事箇所（国浜）
- 道の駅掛川（八坂）
- 新エコポリス第二期工業団地（逆川）
- 新病院建設地（下俣・長谷）

未曾有の東日本大震災は、私達に多くの教訓と試練を投げかけている中、当委員会所管事項の現地調査を行いました。大震災により我々に課せられた、地震・津波・原発等防災問題を中心に視察調査し、改めて安心・安全に対する議会の責務を痛感し、山積する諸問題に加え、厳しい財政状況ではありますが、委員、当局とも強い連携のもと対処すべく再認識をしました。

総務委員長 水野 薫



潮騒橋からの眺望と風力発電



消防指令センター 建設予定地

## 環境産業委員会

所管事項

環境経済部、都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項

### 〔視察箇所〕

- 掛川浄化センター（長谷）
- 新病院建設周辺道路整備（長谷・下俣・高御所）
- 富士見台霊園（下俣）
- 新病院隣接企業用地（長谷）
- 新工コポリス第二期工業団地（逆川）
- 環境資源ギャラリー（満水）
- 駅前東街区再開発事業（駅前）
- 上張城西線（十王・城西）
- 沿道土地区画整理事業（二瀬川）
- ならこの里（居尻）
- 西環状線（各和外）
- 杉谷家代線（下垂木）
- 山崎バイパス（山崎）
- 洋望台土地区画整理事業（川原町外）
- 大須賀浄化センターと風車（沖之須）
- 風力発電施設（干浜・浜野）
- 一級河川菊川右岸高潮堤防（国安）
- 大東温泉シートピア（国安）
- 南北道路（国安外）
- 掛川中央茶業株式会社（桶田）

環境産業委員会では、掛川市が掲げる「環境」「健康・医療」「市民活動」日本一のまちづくりに向けて、農・工・商の連携を持ち、観光の推進など産業の活性化に向けて、調査研究していきます。五月二十五日に委員全員で当局の説明を受



都市計画道路 海洋公園線



新病院隣接企業用地

けながら、掛川市の今後進めなくてはならない事業を主に現地視察を行いました。当委員会としては、長年重要でありながら計画が進んでいない事業の見直し、優先度を決めていく必要があると感じました。

環境産業委員長 山崎恵司

## 文教厚生委員会

所管事項

健康福祉部、教育委員会及び市立総合病院の所管に属する事項

### 〔視察箇所〕

- 新病院建設地（下俣・長谷）
- 山崎デイサービスセンター（山崎）
- 横須賀城跡（横須賀）
- グループホーム稔りの安らぎ（西大淵）
- 横須賀幼稚園（西大淵）
- かあさんの家デイサービス（大淵）
- 大浜中学校（大坂）
- 特別養護老人ホームくにやす苑（国安）
- 教育センター（大東支所内）
- 高天神城跡（土方）
- 西郷小学児童保育（上西郷）
- つどいの広場つくしなかよし広場（鳥居）

現地視察は、造成が進む新病院用地から始まりました。市内を一望できる現場では「健康・医療日本一のまちづくり」のシンボルとなる力強い殿堂が想像できました。そして、横須賀城・高天神城では市のもつ歴史と文化の重さを感じました。

健康・医療・福祉・教育・文化と、生まれてから老齢になるまで、いずれも市民の生活に密接にかかわる分野を所管する委員会として、市民に信頼され・満足してもらえらる市政を目指して「現場主義」で活動していきます。

文教厚生委員長 大庭博雄



西郷小 学童保育（旧三笠幼稚園）



高天神城跡



# 特別委員会を 設置しました



特定な事項の審査や調査を行うために設置される委員会を特別委員会といい、それぞれのテーマに基づき、中長期的施策の検討や提言を行います。

今年度は、「新病院建設・地域医療対策特別委員会」（21年度から継続）「議会基本条例制定特別委員会」「防災対策特別委員会」「議会だより編集特別委員会」の四つの特別委員会を設置しました。ここでは、各委員会の調査内容を紹介いたします。

## 新病院建設・地域医療対策特別委員会

新病院を期限内に建設すべく一部事務組合設立から負担割合やアクセス計画等の課題、病院跡地利用や地域医療のあり方について調査・研究を行っていくため平成21年5月14日開催の臨時会において設置され、昨年度においても継続設置となっていました。

新病院の建設関係や現病院跡地利用及び地域健康医療支援センターの今後の整備計画については、継続して調査・検討・協議していく課題等が残っています。

このことから、中東遠地域の住民が必要とする質の高い医療を将来にわたり確保するという究極の目的に向かい引き続き調査研究していきます。〔委員24名（全議員）〕

## 議会基本条例制定特別委員会

地方分権時代の到来で、議会や議員が危機感を持ち、自己改善ないし活性化に乗り出した議会は少なくありません。また、全国的にも議会を内部から改革しようという動きが広まっています。このようなことから昨年度議会改革検討特別委員会を設置し、「開かれた議会」「市民に親しまれる議会」を目指すため、一問一答制の導入や議長交際費、政務調査費の公開などを早速実施するとともに、議会基本条例の制定についての提言が行われました。

今年度本委員会では、議会及び議員の活動原則、市民と議会の関係、議会と行政の関係などを明らかにする議会の基本原則を定めた条例の制定に向けての作業を行っていきます。〔委員12名〕

## 防災対策特別委員会

東日本大震災を教訓に、今後発生が予想されている東海地震の対策に重点を置き、津波対策・土砂災害防止対策・ため池堤体崩壊防止対策・家具の転倒防止対策・木造家屋の耐震状況・ライフラインの状況・液状化について検証を行い、市民の生命・財産を守るために、何が必要か、何ができるか調査・研究を行っていきます。〔委員 12 名〕

## 議会だより編集特別委員会

掛川市議会の活動状況及び議会に関する諸事項を市民にお知らせする「かがわ市議会だより」の編集・発行作業を行っていきます。〔委員 8 名〕

## 可決された意見書 当面の電力需給対策に関する意見書

3月11日に発生した東日本大震災に伴い、東北電力・東京電力管内地域は原子力発電所の停止などにより電力供給が大幅に減少した。さらに、菅直人総理による中部電力浜岡原子力発電所の停止要請により、夏場の電力不足問題は東日本のみならず全国的な問題に発展している。

電力供給力不足は国民生活や日本経済全体に大きな影響を及ぼす。政府は今夏の電力需給対策に加え、将来的な新エネルギー戦略を見据えた施策を速やかに打ち出す必要がある。しかしながら、政府の電力需給対策本部が5月に発表した対策では国民に節電を呼び掛けるばかりで、節電のインセンティブが働くような施策が盛り込まれなかった。

夏場の電力不足を前に政府及び国会は、予算措置を含めた電力需給対策を早急に打ち出すべきである。

よって政府及び国会におかれては、下記項目について速やかに実現を図るよう強く要望する。

1. 自家発電設備、太陽光発電・蓄電池、太陽熱利用システムの導入補助を大幅に拡充すること。
2. LED照明設備の導入補助や、エコポイント制度の復活等、国民に対して節電のメリットが実感できる施策を早急に実施すること。
3. 稼働中の原子力発電所の災害対策について、政府として早急に指針を示し、安全対策を講じること。
4. 電力需給のひっ迫が長期化することを踏まえた、法制度の見直しや運用改善について早急に検討し、必要な事項を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、  
国家戦略担当大臣、内閣官房長官

# 議 会 日 誌

## 5月

- 20日 ● 総務委員会協議会
  - 環境産業委員会協議会
  - 文教厚生委員会協議会
- 23日 ● 市議会全員協議会
- 25日 ● 環境産業委員会現地視察
- 26日 ● 文教厚生委員会現地視察
- 27日 ● 総務委員会現地視察

## 6月

- 3日 ● 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会（静岡市）
- 6日 ● 議会運営委員会
  - 議員懇談会
- 7日 ● 防災対策特別委員会
- 8日 ● 議会だより編集特別委員会
- 13日～7月4日
  - 掛川市議会第3回（6月）定例会
- 15日 ● 全国市議会議長会定期総会（東京）
- 16日 ● 議会だより編集特別委員会
- 22日 ● 議会運営委員会

- 23日 ● 議会運営委員会
  - 文教厚生委員会協議会
  - 議会基本条例制定特別委員会
- 24日 ● 新病院建設・地域医療対策特別委員会
- 30日 ● 議会だより編集特別委員会

## 7月

- 4日 ● 市議会全員協議会
- 6日～7日
  - 防災対策特別委員会行政視察（宮城県名取市）
- 14日 ● 議会だより編集特別委員会

## 傍聴席

六月市議会定例会を傍聴しました。三月十一日の東日本大震災関連の質疑が多く見受けられ、特に浜岡原子力発電所停止再稼働に興味を持ちました。昨秋、中部電力主催による見学会に地区の人たちと参加し、原子炉棟内部、制御室等を見学し、一度設備をすれば何年も発電でき便利なものだと思います。反面、福島原子力発電所と置き換えると想像もできません。市民は再稼働に首長の決断に注目していくと思います。

いつ来てもおかしくない東海地震に関し、防災訓練の改善、公共施設・木造家屋の耐震補強等の議論が活発に展開されました。今後もこの施策を発展させてほしい。

本会議場でしたが、熱気のある雰囲気を感じ、議員は身近な代表者として住民の安全、安心、住みよい掛川市となることを市民は期待しています。

掛川一市民

## 9月定例会の予定

- 5日 本会議（議案の提案説明）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（議案質疑、委員会付託）・常任委員会
- 20日 一般会計・特別会計決算特別委員会
- 21日 一般会計・特別会計決算特別委員会
- 30日 本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）

6月15日に開催された第87回全国市議会議長会定期総会において、佐藤博俊議員、水野薫議員、雑賀祥宣議員、鳥井昌彦議員が市議会議員一般表彰10年以上表彰を受けられ、記念品が授与されました。



表彰を受けられた（左から）  
佐藤博俊議員  
水野 薫議員  
雑賀祥宣議員  
鳥井昌彦議員

## 編集後記

地方主権の声が大きくなる中、基礎自治体である市町村の自己責任、自己決定の重みが増すまま増しています。したがって、議会の果たす役割も重大となり、同時に市民の皆様方の議会に対する期待も大きくなっています。

議会の使命であります「政策立案」と「行政監視」以外の幅広い議員活動が求められています。市民に開かれた議会活動が各自治体で議論がされています。

本市も議会基本条例制定特別委員会を設置し、市民に身近な議会、市民の期待に応える議会を目標に、議会基本条例の制定を目指します。

今年度も、市議会では「かがわ市議会だより」を発行し、市政全般に、市議会のかかわり、活動状況等の情報を市民の皆様方にお知らせし、議会活動に関心とご理解をいただくよう、親しみの持てる「議会だより」の編集に努めますのでよろしくお願い致します。

議会だより編集特別委員長 山崎恒男



議会だより編集委員（左から）  
草賀章吉委員  
川瀬守弘委員  
水野 薫委員  
山崎恒男委員長  
榛葉正樹副委員長  
鈴木正治委員  
鈴木久男委員  
山本行男委員